

# 宗教文化論 II

科目ナンバリング RES-102  
【II】 選択 2単位

筒井 史緒

## 1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、生きることについて、とりわけ幸福と愛について考えます。題材として、テレビ番組「水曜どうでしょう」をとりあげ、人間はどうあれば幸福であるか、どのように生きれば魂が充足するか、自分の本質を生きるとはどういうことか、について、さまざまな切り口から考察を深めます。

バラエティ番組を宗教学でとりあげることに、戸惑いをおぼえる方もいるでしょう。また「宗教」と聞いて、「あ、オレ無宗教なんぞ!」「宗教ってなんか危ない」といった反応をもつたもの、多いかと思います。

ですが、「宗教」を、もっと広く、「人間が、人知を超えた領域に生かされていると考えることによって、人間の精神的ニーズを満たすもの」と考えると、人はとても宗教的な生き物であるといえます。自分が生きていることの価値、目に見えないもののへの直観、生を喜びで満たしたいという願い、愛がどんな食物より生き物を養うこと……人間は、ただ肉体的に生存していればいいというものではなく、ここにこうして生まれ、生き、経験し、死んでいくことの「意味」を、食べずには生きていけない存在なのです。さらに言えば、わたしたちが求める生の「意味」とは、人によりどのような道を辿らうとも、けつきよくは「幸福」へと帰着してゆきます。幸福という意味を求め、それに養われる存在であるわたしたちは、なんらかのかたちで、深く、生の根源へ、愛へ、幸福へとつながりたいと願っているのではないかと思います。そして、それが実現したとき、わたしたちは本当に生きていることを実感し、魂の奥底から充足するのではないかでしょうか。

そして、「水曜どうでしょう」は、既存の宗教とはまったく違ったかたちで、しかし非常に高度に、究極的な「幸福」を提示しており、それによって観るひとを楽にして(場合によっては救って)いるのではないか、わたしはそう考えています。

授業は毎回、そのときのわたしが辿りついた最新の思索アップデート報告のような形をとる予定です。そのライブ感を共有し、ひとりひとりが自分自身の生と照らし合わせながら、人が生きるということについて思いを深めてもらえたら、と願っています。

秋期には、主に、宇宙や意識の構造を考察しながら、幸福はどのように現実化させることができるか、について考えます。また、授業時には、ゲストスピーカーをお招きすることもあります。

## 2. 授業の到達目標

「宗教」の意味を問い合わせ、「生きること」「幸福」「喜び」「愛」といった、一見よく知っていることばのもつ意味、広がり、多層性、多様性、深み、共同性などについて、各自思索を深める。

自分が生きていることを、新しく深いまなざしで見られるようになる。

## 3. 成績評価の方法および基準

学期末試験にて評価。受講態度もあわせて考慮する。

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

- 藤村忠寿・嬉野雅道著 『人生に悩む人よ藤やん・うれしーの悩むだけ損!』 アスキー・メディアワークス刊  
藤村忠寿・嬉野雅道著 『人生に悩む人よ藤やん・うれしーの続・悩むだけ損!』 アスキー・メディアワークス刊  
藤村忠寿・嬉野雅道著 『人生に悩む人よ藤やん・うれしーの続々・悩むだけ損!』 アスキー・メディアワークス刊  
藤村忠寿・嬉野雅道著 『腹を割って話した』 イースト・プレス刊  
藤村忠寿・嬉野雅道著 『腹を割って話した(未知との遭遇)』 イースト・プレス刊  
藤村忠寿・嬉野雅道著 『水曜どうでしょう写真集No.2』 北海道テレビ放送刊  
嬉野雅道著KADOKAWA 『ひらあやまり』 中経出版刊

その他、新たに参考になるものが出てきた場合は、授業中に指示する。

## 5. 準備学修の内容

日常に潜む宗教的次元に、敏感に着目してみる。

古今東西のさまざまな宗教あるいは宗教的現象に、興味をもち調べ考察してみる。どうしてその時代その土地でそのような宗教が生まれたのか、現代に通じるものがないか、考えてみる。

じぶんが生きているということを、客観的に観察する。

## 6. その他履修上の注意事項

授業を聴く、という受動的態度ではなく、授業をたんに自分にとってのインスピレーションの種と捉え、深く自由に思索してください。みなさんそれぞれにとって、本来の自分にたどりつくための旅の糧になりますように。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する 長谷哲学・エゴヒセルフ
- 【第3回】 「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する 潜在意識の不要な物語
- 【第4回】 「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する 右脳と左脳
- 【第5回】 「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する 存在不安と安心感
- 【第6回】 「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教學する 幸福とは安心感である
- 【第7回】 「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教學する ニつの認識の共存を生きる
- 【第8回】 「水曜どうでしょう」を宗教學する／「水曜どうでしょう」から宗教學する 嬉野さんの役割 俯瞰と慈しみ
- 【第9回】 「水曜どうでしょう」を宗教學する／「水曜どうでしょう」から宗教學する 嬉野さんの役割 物語から抜け出す
- 【第10回】 「水曜どうでしょう」を宗教學する／「水曜どうでしょう」から宗教學する ミスターさんの役割 ビオスの豊穣
- 【第11回】 「水曜どうでしょう」を宗教學する／「水曜どうでしょう」から宗教學する ミスターさんの役割 可愛いということ
- 【第12回】 「水曜どうでしょう」を宗教學する／「水曜どうでしょう」から宗教學する 藤村さんの役割 世界は安心である
- 【第13回】 「水曜どうでしょう」を宗教學する／「水曜どうでしょう」から宗教學する 大泉さんの役割 社会は深刻ではない
- 【第14回】 「水曜どうでしょう」を宗教學する／「水曜どうでしょう」から宗教學する 安田さんの役割 宇宙に寄与すること
- 【第15回】 まとめと試験